

Joint Apps

ピアノアプリを作る

今回はピアノのアプリを作りたいと思います。とてもシンプルな構造ですが、繰り返す手間がかかります。根気強く行きましょう！

まず素材を登録していきます。（作業はP Cベースが確実です）

1-1.タブを 2 に切り替えます。



1-2. 素材の登録ボタンを押して、登録画面を出します。



1-3. 鍵盤を登録していきます。

1-3-1. まず、押していない白の鍵盤を登録します。

- ・素材カテゴリーは、“ボタン背景”
- ・素材名は、“ピアノしろオフ”
- ・画像選択から、 piano_w_00.png を選択します。

- ・  ボタンで素材を登録します。



1-3-2. 次に押したときの白の鍵盤を登録します。

- ・素材カテゴリーは、“ボタン背景”
- ・素材名は、“ピアノしろオフ”
- ・画像選択から、 piano_w_01.png を選択します。



- ・  ボタンで素材を登録します。

1-3-2.黒の鍵盤も 白の鍵盤と同様に登録していきます。

(押していない黒鍵)

- ・素材カテゴリーは、“ボタン背景”
- ・素材名は、“ピアノくろオフ”
- ・画像選択から、 piano_b_00.png を選択します。

(押した状態の黒鍵)

- ・素材カテゴリーは、“ボタン背景”
- ・素材名は、“ピアノくろオン”
- ・画像選択から、 piano_b_01.png を選択します。

1-3-3.ドの音の素材を登録していきます。

- ・素材カテゴリーは、“音”
- ・素材名は、“ピアノ_ド”
- ・画像選択から、 01_C.wav を選択します。

- ・  ボタンで素材を登録します。



1-3-4.同様に、レからも登録していきます。

- (ド#) 素材名：“ピアノ_ド#” ・ファイル選択：02_C_S.wav
- (レ) 素材名：“ピアノ_レ” ・ファイル選択：03_D.wav
- (レ#) 素材名：“ピアノ_レ#” ・ファイル選択：04_D_S.wav
- (ミ) 素材名：“ピアノ_ミ” ・ファイル選択：05_E.wav
- (ファ) 素材名：“ピアノ_ファ” ・ファイル選択：06_F.wav
- (ファ#) 素材名：“ピアノ_ファ#” ・ファイル選択：07_F_S.wav
- (ソ) 素材名：“ピアノ_ソ” ・ファイル選択：08_G.wav
- (ソ#) 素材名：“ピアノ_ソ#” ・ファイル選択：09_G_2.wav
- (ラ) 素材名：“ピアノ_ラ” ・ファイル選択：10_A.wav
- (ラ#) 素材名：“ピアノ_ラ#” ・ファイル選択：11_A#.wav
- (シ) 素材名：“ピアノ_シ” ・ファイル選択：12_B.wav
- (ド高) 素材名：“ピアノ_ド2” ・ファイル選択：13_Cnext.wav

面倒ですが、これを登録しておけば大丈夫です。

1-3-5.いったんセーブする



ボタンを押して、アプリ名の欄に「piano」を入れて、

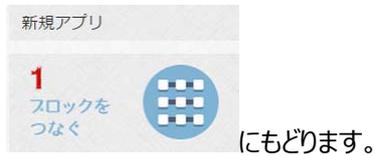
公開設定

非公開 ▾

で保存します。

【アプリをつくる】

2-1.ブロックをつなぐ に移動する



2-2.列を増やしておく



2-3-1.ブロックをつないでいく

今回は“ボタン”をタップすると、音が“再生”される という簡単な理論ですので、
ボタブロック⇒再生ブロック という組み合わせのブロック列を 13 列縦につなぎます。



2-3-2.いったんセーブする

 ボタンを押して、アプリ名を入れて、
 

 で保存します。

2-4.ブロックに画像や文字を入れていく

タブを 2 に切り替えます。



2-5.まず白い鍵盤を設定していく

ブロックは下に行けば行くほど、画像は上に重なっていくので
まず上から 8 列までは、白い鍵盤を設定していきます。

ボタブロックをタップして、下のように 8 列までのボタブロックは設定していきます。



ボタン名

 離れた時の画像
 ピアノしろオフ ▼
 押した時の画像
 ピアノしろオン ▼
 OK

2-6.黒い鍵盤を設定していく

9 列～13 列のボタブロックは、黒い鍵盤を設定していきます。

ボタブロックをタップして、下のように 8 列までのボタブロックは設定していきます。



ボタン名

 離れた時の画像
 ピアノくろオフ ▼
 押した時の画像
 ピアノくろオン ▼
 OK

2-7.再生ブロックに音の素材を入れていく

先ほど素材に登録したピアノの音を、再生ブロックに入れていきます。

2-7-1.白い鍵盤の音をいれていく

1～8列目までが、白い鍵盤ですので、#がつかない音源を設定していきます。

一番上の  をタップして下記のように設定して OK を押します。



2列目からは、ドとおなじように、上から順番に

- (2列目) 素材名：“ピアノ_レ”
- (3列目) 素材名：“ピアノ_ミ”
- (4列目) 素材名：“ピアノ_ファ”
- (5列目) 素材名：“ピアノ_ソ”
- (6列目) 素材名：“ピアノ_ラ”
- (7列目) 素材名：“ピアノ_シ”
- (8列目) 素材名：“ピアノ_ド2” と登録します。

2-7-2.黒い鍵盤の音をいれていく

9～13列目までが、黒い鍵盤ですので、#がつかない音源を設定していきます。

一番上の  をタップして下記のように設定して OK を押します。

- (9列目) 素材名：“ピアノ_ド#”
- (10列目) 素材名：“ピアノ_レ#”
- (11列目) 素材名：“ピアノ_ファ#”
- (12列目) 素材名：“ピアノ_ソ#”
- (13列目) 素材名：“ピアノ_ラ#”

根気が要る作業ですが、淡々とすすめましょう。

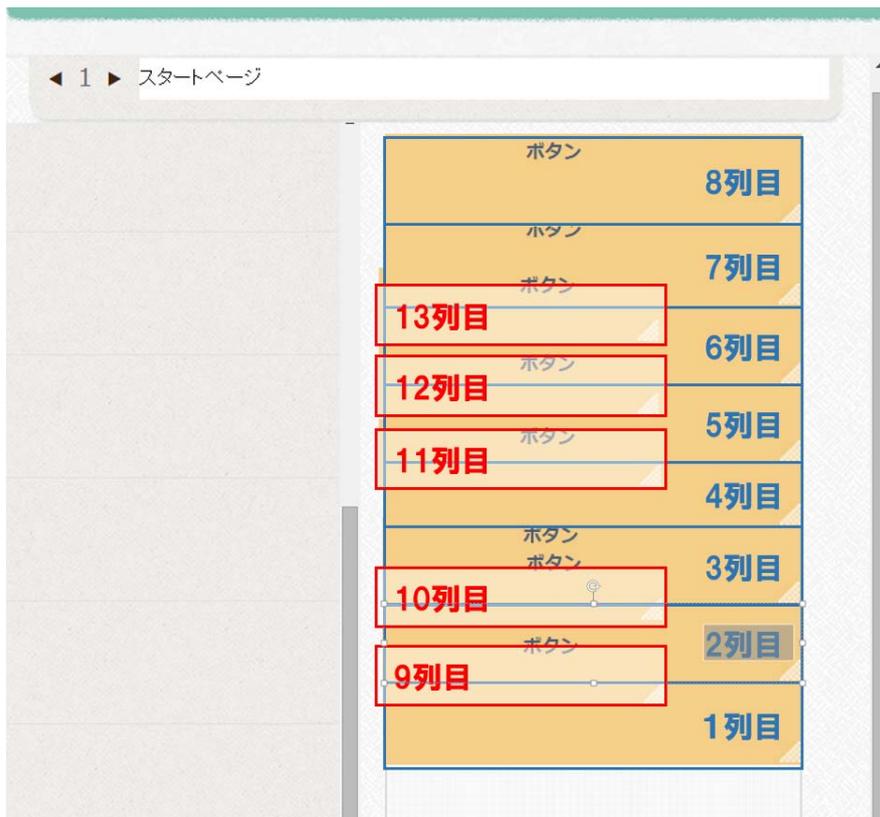
完了したら、一度 OK ボタンでうわがき保存しておきましょう。

2-8.レイアウトする。

いよいよ画面に並べていきます。

ご自身のスマホやタブレットの画面の比率に近いタブに切り替えて並べていきましょう。

この作業も淡々としておりますが、根気強く並べていきます。



2-9.完成⇒上書きでセーブする



から



で上書きセーブします。

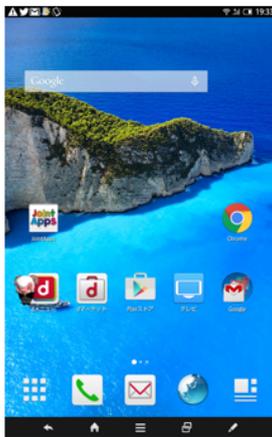
それでは、アプリで開いてみましょう。

3-3.アプリで開く

以下の手順で、タブレット/スマホでアプリを開きます。

(あらかじめ、JointApps のアプリをストアからダウンロードしてインストールしておいてください)

①アプリアイコンをタップ



②SETTINGから、メアド/PWを入れて同期



③作ったアプリデータをタップ



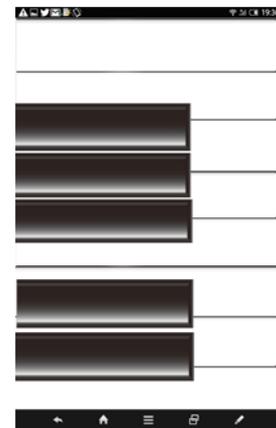
④赤いボタンでアプリを開く



⑤Playボタンで再生



⑥アプリを試してみる



ピアノの鍵盤の位置などが、ずれていたりしたら、もう一度ブラウザに戻って、レイアウトで調整し、セーブ。

⑤の Update ボタンをおしてから、Play で再生すると、今セーブした部分がおっているはずですよ。

これをくりかえしながら、完成を目指してみてください。